

和日館木種

しゅもくかんびより ◆ 第十号



文化のみち種木館
Cultural Path Shumokukan

発行日: 2014年 9月 26日

発行: 文化のみち種木館

指定管理者: 特定非営利活動法人種木倶楽部

「寄り添う館」

種木館は落ち着いた庭園が、四季折々の味いを見せてくれあきることがない。(中略)
年間を通して、貸室では種々の催しが行われる。和もあれば洋も、静もあれば動も...
そのどれもが種木館の各室にピッタリと合い風情を醸し出している。

建物の持つ奥行き、趣が寄り添って来てくれるのだ。(2面「伝統の伊勢型紙に惹かれて」より)



文化のみち種木館にて
NPOアクティブ・エイジ・なごや伊勢型紙部会の皆さん

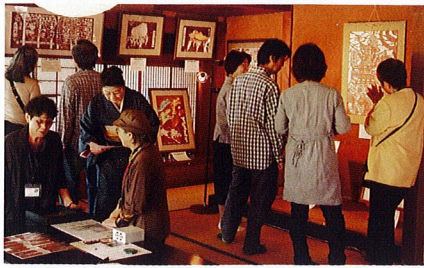
伝統の 伊勢型紙に惹かれて

榎木館は落ち着いた庭園が、四季折々の味わいを見せてくれあきることがない。建物には和館と洋館、蔵、茶室などがあり、申し込めば利用できる。

年間を通して、貸室では種々の催しが行われる。和もあれば洋も、静もあれば動も…そのどれもが榎木館の各室にピッタリと合い、風情を醸し出している。建物の持つ奥行き、趣が寄り添って来てくれるのだ。

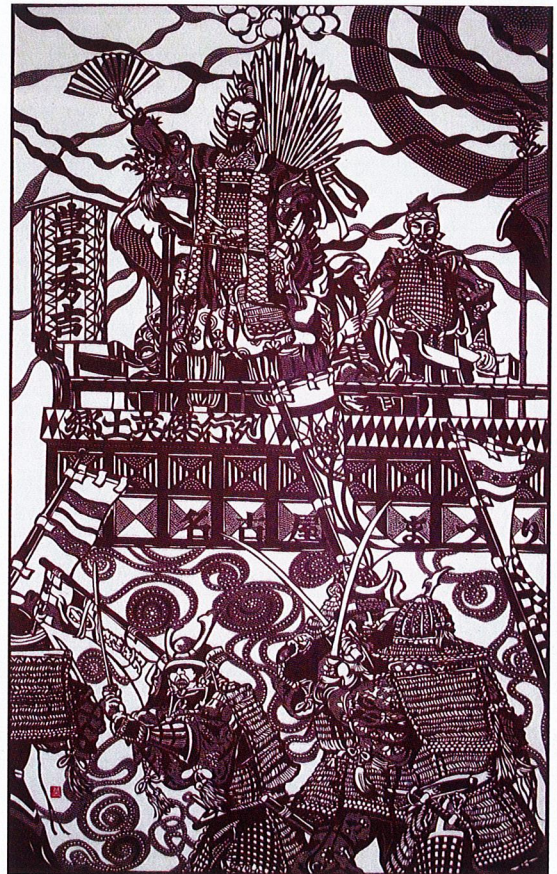
毎年名古屋まつりの頃、私も同好の仲間と共に「伊勢型紙展」を和室でやらせていただき、今年でもう五回目となる。

「伊勢型紙って何？」とよく尋ねられるので、少しだけ紹介してみよう。



展示風景

伊勢型紙は千年の歴史を持つといわれる我が国特有の伝統工芸で、三重県鈴鹿地方を中心に発展してきた。着物などの型染めとして、小紋・友禅・浴衣などで使われ、細かな手仕事が生む格調高い文様が魅力だ。地紙に彫っていくが、錐彫・線彫など大きく四種類の手法がある。



山中良子「名古屋まつり郷土英傑行列」

地紙に強度があり、水に強くないと精緻な彫ができない。一枚の地紙を作るのに美濃和紙三枚を柿渋で貼り合わせ、柿渋液に何度も漬けたり、天日干しや熱蒸など、大変な時間と労力をかける。その結果世界最強の和紙が出来たのだ。その地紙に図案や文字を彫り、染色工程で使われることになる。

テレビで「伊勢型紙の…」と浴衣の「マーシャル」など目にされた方もあるかと思う。元来は着物柄だったが、現代では、額装したり壁掛けしたりと、アート作品としても普及して来ている。



富田和子「豊浜鯛まつり」

伊勢型紙で彫る

「日本の世界遺産」展

10/11(土)～10/19(日)

●10/15(水)・16(木) 午後1時～午後2時30分

「ワークショップ」伊勢型紙での葉(しおり)作り

●10/18(土) ①午後1時～②午後2時

「名古屋まつり協賛イベント・伊勢型紙彫紙芝居」

色鮮やかな光と影の紙芝居で

心やすらぐおとぎの世界へご案内します。

主催：NPOアクティブ・エイジ・なごや伊勢型紙部会

文化のみち榎木館

協賛：名古屋まつり協進会

※詳細は、裏面「文化のみち榎木館」催し物暦

(10月～3月)をご覧ください。

今年も名古屋まつりをはさんで10/11(土)～10/19(日)の間、伊勢型紙で彫る「日本の世界遺産」展を予定している。百聞は一見にしかず。是非一度ご覧いただきますように。

また、榎木館では今後いろいろな催事を予定しているので、四季の移ろいを味わいながら観覧に来てください。定期観覧券だと何度も来館できますよ。

文化のみち榎木館スタッフ 山中良子

今から50年前に文化のみちの一角とかかわりが出来、ほんの一部ではあるがその中に入出入りするようになった。もちろん当時は「文化のみち」という表現はなかったが、武家屋敷やら立派な寺院やらがこの地域の貴重な雰囲気と歴史を興味の無かった私にもはっき

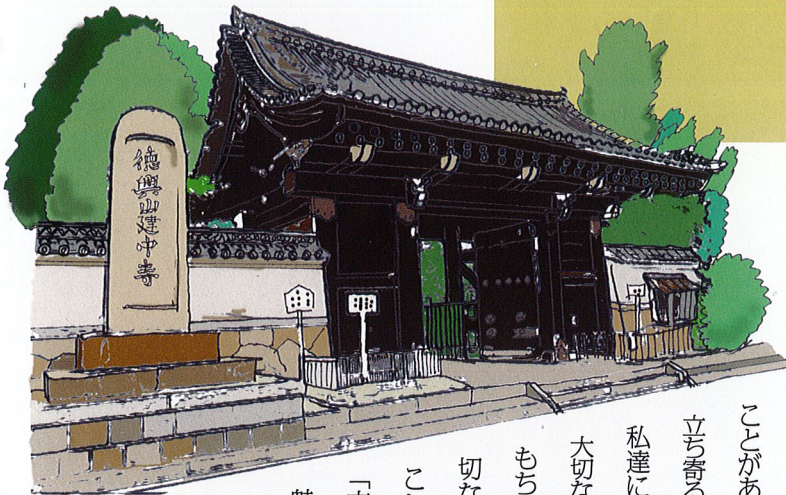


文化のみちと私

文化のみち 榎木館副館長 坂口範泰

と教えてくれた。

最初に出会ったのが中学の入学式の会場「東海学園大講堂」である。内部も外観も田舎育ちの私には驚きの立派さであった。現在でも50年前と変わらない姿で建っていて、周りの校舎群の姿や位置が変わっているだけ。内部もほんの一部だけ現代風でカラフルに修復されているが、ほぼ変化がない。その中に身をおくと厳肅な式の最中に、坊主頭の同級生が悪戯をしにかけてくるのが鮮やかに思い出される。



建中寺は慶安4年(1651)二代目尾張藩主徳川光友が創建し、尾張徳川家の菩提寺として、48,000坪もの広さをもつ大寺院であった。明治維新後敷地は減ったが、それでも広大な敷地と特別に立派な伽藍を持つ大寺院である。東海中学高校も建中寺の敷地の一部であった。中学高校時代、良いことが起こっても、悪しきことがばれたりしても行われることは建中寺一周であった。走っても歩いても約800メートル。試合で負けてやらされる一周は苦しかったが、勝ったときは、総門前の商店街まで立ち

寄り、ラーメンをみんなで食べたりした。

とにかく何か大切なことがあるときは必ず立ち寄るところであり、私達にとってそれは大切な場所であった。もちろん今でも大切な場所である。これからこの「文化のみち」の魅力さをさらに見つけ出し、発信していきたいと思

平成26年度催し物暦(4月～9月)

4/1～4/6

春のテフルコーディネート展



4/23～5/6

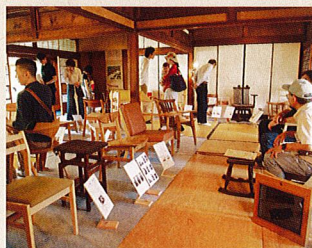
名古屋歴史建築散歩



6/6～6/8

木匠家ウィーク

NAGOYA・2014



白口会会員・池田茂の「榎木館絵画教室」

8/8～8/24

和室で異国を楽しむ「欧米の風景絵皿の展示とドイツ鉄道模型の運行」



文化のみち榎木館では、館主催イベントをはじめ、貸室利用によるイベントを年間通しておこなっています。当館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸しします。詳しくは下記の電話番号、ファックス番号へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。